

2. 日本遺産にみる「物語化」の手法



平成30年5月24日。第4期となる日本遺産として、新たに13件の物語が認定された。これで、全国で67の日本遺産が認定されたことになる。

地域のブランディングには、日本遺産のような物語化と活用手法から多くのことが学べる

(1)「日本遺産 (JapanHeritage)」とは何か？

- 「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、個々の文化財の枠を超えて、その背後にある地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーである (文化庁認定)
- ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、**国内だけでなく海外へも戦略的に発信**していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている



●要するに!!

日本を象徴する「100の物語」

- 例えば「出雲國たたら風土記」は、「たたら」という日本を代表する鉄の産地の歴史・文化のストーリー
- その希少性・地域性をどのように表現・訴求するかが問われている。

「日本遺産 (JapanHeritage)」の詳細は、文化庁HP参照

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/

(2)日本遺産は地域づくりの新たなビジョンづくり

①ストーリーの内容が、当該地域の際立った特徴・特色を示すものであるとともに、わが国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。

***ストーリーについては、以下の観点から総合的に判断する**

- ▼興味深さ(人々が関心を持ったり惹きつけられる内容となっているか)
- ▼斬新さ(あまり知られて居なかった点や優れた魅力を打出しているか)
- ▼訴求力(専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっているか)
- ▼希少性(他の地域ではあまり見られない稀有な点があるか)
- ▼地域性(地域特有の文化が現れているか)

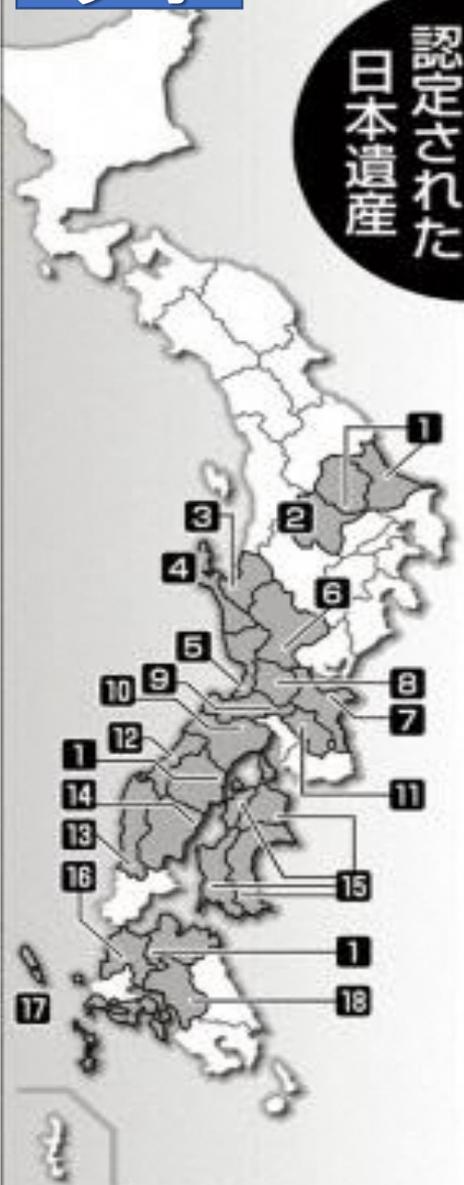
②日本遺産という資源を活かした**地域づくりについての将来像(ビジョン)**と、**実現に向けた具体的な方策**が適切に示されていること

③ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた**地域活性化の推進が可能となる体制**が整備されていること。

**特に②③がなければ持続的な地域活性事業は不可能
これが難しいと認定見直しの議論もある。**

参考

認定された 日本遺産



名称	関係自治体
1 近世日本の教育遺産群 —学ぶ心・礼節の本源—	水戸市(茨城)、足利市(福井)、 日田市(大分)、備前市(岡山)
2 かかあ天下 —ぐんまの絹物語—	桐生市、甘楽町、中之条町、片品村(群馬)
3 加賀前田家ゆかりの町民文化が 花咲くまち高岡 —人、技、心—	高岡市(富山)
4 灯(あか)り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～	七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、 穴水町、能登町(石川)
5 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群 ～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～	小浜市、若狭町(福井)
6 「信長公のおもてなし」が息づく 戦国城下町・岐阜	岐阜市(岐阜)
7 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮	明和町(三重)
8 琵琶湖とその水辺景観 —祈りと暮らしの水遺産—	大津市、彦根市、近江八幡市、 高島市、東近江市、米原市(滋賀)
9 日本茶800年の歴史散歩	宇治市、和束町、木津川市、宇治田原町、八幡市、 城陽市、京田辺市、南山城村(京都)
10 丹波篠山 テカンショ節 —民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—	篠山市(兵庫)
11 日本国創成のとき —飛鳥を翔(かけ)た女性たち—	明日香村、橿原市、高取町(奈良)
12 六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝監賞と世界屈指のラドン泉～	三朝町(鳥取)
13 津和野今昔 ～百景図を歩く～	津和野町(島根)
14 尾道水道が紡いだ中世からの雑庭的都市	尾道市(広島)
15 「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～	愛媛、高知、徳島、香川各県の57市町村
16 古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～	太宰府市(福岡)
17 国境の島 舌岐・対馬 ～古代からの架け橋～	対馬市、舌岐市、五島市、新上五島町(長崎)
18 相良700年が生んだ保守と進取の文化 ～日本でもっとも豊かな隠れ里—人吉球磨—	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、瀬前町、 水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村(熊本)

2016年度認定の日本遺産(平成28年4月26日文化庁:19件)

19	鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～	横須賀市(神奈川県)・呉市(広島県)・佐世保市(長崎県)・舞鶴市(京都府)
20	政宗が育んだ“伊達”な文化	仙台市・塩釜市・多賀城市・松島町(宮城県)
21	自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』 ～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2446段の石段から始まる出羽三山	庄内町・鶴岡市・西川町(山形県)
22	会津の三十三観音巡り ～巡礼を通して得た往時の会津の文化～	会津若松市ほか(福島県)
23	未来を拓いた『一本の水路』 ～大久保利通“最後の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代～	郡山市・猪苗代町(福島県)
24	北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み	成田市・佐倉市・香取市・銚子市(千葉県)
25	江戸庶民の信仰と行楽の地 ～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～	伊勢原市(神奈川県)
26	「いざ、鎌倉」 ～歴史と文化が描くモザイク画のまち～	鎌倉市(神奈川県)
27	「なんだ、コレは！」 ～信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化～	三条市・十日町市・長岡市ほか(新潟県)
28	『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～	小松市(石川県)

29	木曾路はすべて山の中 ～山を守り山を生きる～	南木曾町・大桑村・上松町・木曾町・大祖村・大滝村・塩尻市(長野県)
30	飛騨匠の技・ころろ ～木とともに、今に引き継ぐ1300年～	高山市(岐阜県)
31	『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」 ～古代国家を支えた海人の営み～	淡路市・洲本市・南あわじ市(兵庫県)
32	森に育んだ人々の暮らしとところ ～美林連なる造林発祥の地“吉野”	吉野町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村(奈良県)
33	鯨とともに生きる	新宮市・那智勝浦町・大地町・串本町(和歌山県)
34	地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市	米子市・大山町・伯耆町・江府町(鳥取県)
35	出雲國たたら風土記 ～鉄づくり千年が産んだ物語～	安来市・奥出雲町・雲南市(島根県)
36	“日本最大の海賊”の本拠地 芸予諸島	今治市(愛媛県)・尾道市(広島県)
37	日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきもの散歩～	有田町・伊万里市・武雄市・嬉野市・唐津市(佐賀県)、波佐見町・佐世保市・平戸市(長崎県)

2017年度認定の日本遺産(平成29年4月28日文化庁:17件)

38	江差の五月は江戸にもない ～ニシン繁栄が息づく町～	江差町(北海道)
39	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船首集落～	◎酒田市(山形県)、函館市・松前町(北海道)、鱒ヶ沢町・深浦町(青森県)、秋田市、新潟市・長岡市(新潟県)、加賀市(石川県)、敦賀市・南越前町(福井県) *今年5月28日市町村の追加認定 呉(御手洗)、尾道
40	サムライゆかりのシルク ～日本近代化の原風景に出会うまち鶴岡へ～	鶴岡市(山形県)
41	和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田	行田市(埼玉県)
42	忍びの里 伊賀・甲賀 ～リアル忍者を求めて	甲賀市(滋賀県)・伊賀市(三重県)
43	300年を紡ぐ絹が織りなす丹後ちりめん回廊	◎京都府(宮津市・京丹後市・与謝野町・伊根町)
44	1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」 ～竹内街道・横大路(大道)～	◎大阪府(大阪市・堺市・松原市・羽曳野市、大子町)奈良県(葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)
45	播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道 ～資源大国日本の記憶を辿る73kmの轍～	◎朝来市・姫路市・福崎町・市川町・神河町・養父市
46	絶景の宝庫 和歌の浦	◎和歌山県(和歌山市・海南市)

47	「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅	湯浅町(和歌山県)
48	日が沈む聖地出雲 ～神が創り出した地の夕日を巡る～	出雲市(島根県)
49	一輪の綿花から始まる倉敷物語 ～和と洋が織りなす繊維のまち～	倉敷市(岡山県)
50	きっと恋する六古窯 ～日本生まれ日本育ちのやきもの産地～	◎備前市(岡山県)、越前町(福井県)、瀬戸市・常滑市(愛知県)、甲賀市(滋賀県)、篠山市(兵庫県)
51	森林鉄道から日本一の柚子ロードへ ～柚子が香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と職文化	◎安田町、奈半利町、田野町、北川村、馬路村
52	関門“ノスタルジック海峡” ～時の停車場、近代の記憶～	◎北九州市(福岡県)・門司市(山口県)
53	米作り、二千年にわたる大地の記憶 ～菊池川流域「今昔『水稻』物語～	◎山鹿市・玉名市・菊池市・和水町
54	やばけい遊覧 ～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～	◎中津市・玖珠町

 塗りつぶしは単独市町村による提案(地域型)

2018年度認定の日本遺産(平成30年5月24日文化庁:13件)

55	カムイとともに生きる上川アイヌ ～大雪山のふとこほに伝承される神々の世界～	◎上川町、旭川市、富良野市、愛別町、上士幌町、上富良野町、鹿追町、士幌町、新得町、当摩町、東川町、比布町(北海道)
56	山寺が支えた紅花文化	◎山形県(山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町)
57	地下迷宮の秘密を探る旅 ～大矢石文化が息づくまち宇都宮～	宇都宮市(栃木県)
58	明治貴族が描いた未来 ～那須野が原開拓浪漫譚～	◎那須塩原市、矢板市、大田原市、那須町(栃木県)
59	宮大工の鑿一丁から生まれた木彫刻美術館・井波	南砺市(富山県)
60	葡萄畑が織りなす風景 ～山梨県峡東地域～	◎山梨県(山梨市、笛吹市、甲州市)
61	星降る中部高地の縄文世界 ～数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に出会う旅～	◎長野県(茅野市、富士見町、原村、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、長和町、川上村)、山梨県(甲府市、北杜市、韮崎市、南アルプス市、笛吹市、甲州市)
62	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 ～箱根八里で辿る遥かな江戸の旅路～	静岡県(◎三島市、函南町)、神奈川県(小田原市、箱根町)

63	「百世の安堵」 ～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～	広川町(和歌山県)
64	「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～	◎岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市(岡山県)
65	瀬戸の夕凧が包む 国内随一の近世港町 ～セピア色の港町に日常が溶け込む 鞆の浦～	福山市(広島県)
66	鬼が仏になった里「くにさき」	◎豊後高田市、国東市(大分県)
67	古代人のモニュメント ～台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観～	◎西都市、宮崎市、新富町(宮崎県)

■ 塗りつぶしは単独市町村による提案(地域型)

日本遺産への応募状況と審査結果(平成27・28・29・30年度認定)

- | | | |
|---------|------------------------------|-----------------------|
| ○平成27年度 | 83件 (40都府県、238市町村)の応募 | 18件 が認定(24府県) |
| ○平成28年度 | 67件 (42都府県、219市町村)の応募 | 19件 が認定(20府県) |
| ○平成29年度 | 79件 の応募 | 17件 が認定(25道府県) |
| ○平成30年度 | 76件 の応募 | 13件 が認定(1道12県) |

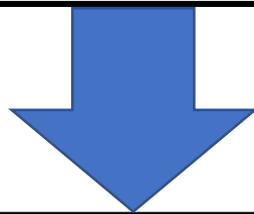
計 67件

(3)物語は何のために必要か ～大切なのは地域「愛」アイデンティティー～

①地域アイデンティティー(誇り)の形成

- 地域のオリジナルストーリーは顧客に示す前に、地域自体が共通のアイデンティティーや自らの方向性として共有するものである。
- 換言すれば、他所の人々に語れる・語りたい共通の地域物語をもっているかどうか問われる。

(「市民プライド」「地域ブランド」)



自地域の誇りとして
何を伝えたいのか

②魅力的な「滞在スタイル・ストーリー」の提供

- 地域の人々が自らの歴史を知り、誇り(伝えたいもの)がなければ外の人には伝わらない。つまり観光にはならない。
- マーケティング視点を取り入れ、誰にどのような物語(テーマストーリー)を語り、共感・感動を得ることができるかが問われる

(共感のストーリー)。

事例1 「みんなの日本遺産!!」

「林鉄」(魚梁瀬森林鉄道)から「柚子の道」

■ ストーリーの骨格 *「りんてつの里」から「ユズの町」へ

- 南国土佐の東に位置する中芸。林業で栄え、西日本最大の森林鉄道が駆け巡った「りんてつの里」は今では「ユズの町」である
- 古くは中岡慎太郎が栽培を推奨した当地のユズは、林業に代わる新たな産業として定着し、いまや日本一の生産量を誇り、世界に輸出されている。
- ユズの濃緑の柚子葉、白い小花、濃黄の過日が季節ごとに彩る風景。ユズをふんだんに使う風味豊かな郷土料理。国内外に発信されている新たなユズ文化。ユズの味と香りと彩を愉しみながら森林鉄道の遺構を訪ねて歩けば、時代の変化を逞しく生きている中芸の人々の今と歴史を一度に体感できる。

*このストーリーには、どのような感動・共感(顧客価値)があるのか

*魚梁瀬森林鉄道が果たした普遍的な歴史的役割・意義の明確化と未来への継承

*地域の生き残りをかけた転換(りんてつからユズ)の歴史的意義。

*その歴史をさらに未来に繋ぐ新たな試みとは



「森林鉄道から日本一のユズロードへ」のストーリー展開

結

次代への継承・発展
(ビジョン・事業・体制)

- さらなる地域の未来ビジョンをどう描くか。
そのビジョンの事業化と推進体制の確立(未来計画)
- 森林鉄道のある台湾など国内外地域との連携

転

中芸の「食文化」とユズ

- ユズの高付加価値化への取り組み
*ユズ酢、ユズと地場産品を用いたドリンク、スイーツなどの加工品、美容・健康に良いユズの実や花の活用、種から作った化粧品など
- 郷土料理としての飲食文化・酒、おきゃく文化などを用いた交流ビジネスの創出

承

林業に代わる新たな産業(ゆず)への転換

- りんてつの衰退と廃線。地域の生き残りをかけた新たな産業の創出
- かつて中岡慎太郎が推奨したユズの復権。りんてつ沿線に畑を拓きユズを栽培。ブランド化。

起

林業の隆盛と
魚梁瀬森林鉄道

- 平安時代、空海開創の仏閣建築に切り出された魚梁瀬木材。秀吉「太閤記」には「第一土佐」の記述
- これら木材切り出しに係る柚夫の文化と西日本一の魚梁瀬森林鉄道の歴史

中芸の産
みんなの日本
記念イベント

高知県 奈半利町 伊野町 安田町 北川村 馬路村

ゆずロードを祝おう

もち投げあり!

学べる! 展示ブース

遊ぼう! アトラクション

作ろう! 体験ブース

おいしい! 飲食ブース

日本遺産認定記念シンポジウム
中芸みんなの日本遺産
森林鉄道から日本一のゆずロードへ
—ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化—

2017年10月1日(日) 参加無料

[場所] 田野町ふれあいセンター [時間] 10:00 - 16:00
高知県安芸郡田野町1456-42

内容 ●認定祝賀セレモニー
●基調講演「東京から見た地域の魅力/含掌智宏氏 (Nin function代表取締役社長)」
●パネルディスカッションⅠ -「日本遺産未来計画(案)」発表-
●パネルディスカッションⅡ -討議-

主催 中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会

日本遺産
日本遺産認定記念シンポジウム
「日本遺産未来計画(案)」

時:平成29年10月1日(日)
所:田野町ふれあいセンター

ゆず農家の皆さんの営みが柚子ロードや地域景観を育てている。
つまり「みんなの日本遺産」なのである

